

1980年 世界文化遺産登録!

『最後の晚餐』 [1495~1498]

レオナルド・ダ・ヴィンチ [イタリア 1452~1519]

「12使徒の中の一人が私を裏切る」

イエスキリストが12人の弟子と共に最後の晚餐を迎える中、イエスは最中に「12使徒の中の一人が私を裏切る」と予言し、絵はその際、イエスキリストを囲っている弟子たちの様子が描かれている。

テンペラ画 (卵や植物性油などを溶剤として顔料を解き、キャンバスや木の板などに描く技法を用いる技法を使った絵)



460 cm × 880 cm

裏切り者は左から4番目にいる「ユダ」という男である。イエスの方に顔を向け、計画がバレたのかと焦っている様子がこの絵を見て窺える。その他にも裏切りの対価として得た銀貨の袋を持たせ顔に影があるなどで他の弟子たちと区別できる。

現在はイタリア・ミラノにあるカトリック教会の聖堂、**サンタ・マリア・デッシ・グラツィエ教会**の以前食堂として使われていた建物の壁に描かれている。食堂の中にある絵画のため、食べ物の湿気や第二次世界大戦では大規模な空襲に遭い3年間屋根の無い状態など、いつ消滅してもおかしくない状態でありながらも残っていることから「**奇跡の絵画**」といわれている。

〈参考文献〉

世界遺産オンラインガイド, レオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晩餐』があるサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会とドメニコ会修道院, <https://worldheritagesite.xyz/leonardo-da-vinci/>
(参照2020-05-20)

CASIE MAG, [教養を深める] そうだったんだ! 「最後の晩餐」をじっくり解説。 , <https://casie.jp/media/lastsupper-kaisetsu/>,
(参照2020-05-20)

笑ってトラベル, なぞ多い奇跡の絵画「最後の晩餐」!! その絵画に隠された「謎」とは? ,
<https://smile-travel.jp/saigonobansan.html>, (参照2020-05-20)

Artpedia アートペディア/近代美術の百科事典, 【作品解説】レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」最後の晩餐/The Last Supper イエスと十二人の弟子の晩餐を描いた有名画, <https://www.artpedia.asia/the-last-supper/>
, (参照2020-05-20)

種類：油彩、キャンバス

「エモい」ただそれだけです。

『散歩、日傘をさす女』 [1875]

クロード・モネ[フランス 1840~1926]

チューブ絵の具の発明により外での創作活動が可能になったことでモネはアトリエをと外に作り、光の色の変化を探求した。

左側にいる男の子は息子のジャン。

右側にいる女性は妻のカミーユである。場所はエプト川の河口。陽光に照らされ光が反射し、日傘をさす女性の顔は陰で隠れ、風の中なびく草木や衣服がどこか神秘的に感じる。

土手の上にいる二人はこちらの方を見つめ

「先に行っちゃうわよ」

と今にでも言いそうな雰囲気のある温かい気持ちになる風俗画。

現在この「散歩、日傘をさす女」はアメリカのワシントン・ナショナル・ギャラリーに展示されており、後1886年の「日傘をさす女(右向き)(左向き)」はフランスのパリにあるオルセー美術館に展示されている。



奥にいる息子の奥ゆかしさのある描写がまずグッとくる。妻の表情、ドレスが青くしわを作り、風に揺られる姿…草木の揺れる描写や、影と光の色合い…これは「エモい」としか表しようがない…

種類：油彩、キャンバス

愛しさと、切なさと、 ...

『日傘を持った女』 [1886]

クロード・モネ[フランス 1840~1926]

後1879年、病気により最愛の妻カミーユが僅か32歳という若さで亡くなった。

その悲しみのせいか、モネは人物を書くのをやめていたが1885年ごろに再度、風景の中に人物を書こうとした。

今回のモデルは義理の娘となるシュザンヌ。

同じ構造で右向き、左向きと二つの種類の人物画を制作した。

今回紹介する作品は左向きの作品であり、前回紹介した人物画と違い表情が描かれておらず、モデルが誰だか認識できなくなっている。

女性の衣装が風によってなびく瞬間を後ろの景色と共に力強くしかしどこか儚く感じる。

モネの亡き妻カミーユへの愛情がひしひしと伝わり、どこか哀愁感じる、そんな作品である。



131×88cm

↑記憶の中のカミーユを想像して描いた。

〈参考文献〉

Rakuten BLOG,モネ 日傘の女 右向きの日傘の女 左向きの日傘の女 オルセー美術館では二枚並びます♪(1),
<https://plaza.rakuten.co.jp/hoshinokirari/diary/201806260000/>
,(参照 2020-06-05)

Artpedia アートペディア/ 近現代美術の百科事典,【作品解説】クロード・モネ「パラソルを差す女」,
<https://www.artpedia.asia/woman-with-a-parasol/>
,(参照2020-06-05)

絵画販売ドットコム,モネが人物画を後世書かなかった理由,
<https://www.clarenet.co.jp/kaigahanbai/2016/08/16/%E3%83%A2%E3%83%8D%E3%81%8C%E4%BA%BA%E7%89%A9%E7%94%BB%E3%82%92%E5%BE%8C%E4%B8%96%E6%9B%B8%E3%81%8B%E3%81%AA%E3%81%8B%E3%81%A3%E3%81%9F%E7%90%86%E7%94%B1/>
,(参照2020-06-05)

Merci-Paris.Net, クロード・モネ「日傘の女」,
<http://www.merci-paris.net/tableau/parasol.html>
, (参照2020-9-18)

シルヴィ・パタンモネ 印象派の誕生 創元社 1997年 [ページ75, 102~103]

クリストン・ハインリヒ,タンシェン・ニュー・ベーシック・アート・シリーズクロード・モネ,42~43.95ページ,2000年出版

「老い」は誰にも「必ず」くる

『女の生の三段階』 [1905]

グスタフ・クリムト [オーストリア1862~1918]

人生の第1・2段階を表す幼児と
子を抱えた女性の後ろにいる
老いた第3段階の老女。

手を顔に当て嘆いてるように見える老女が
傍に立っている母子に

「老いはすぐ近くにある」
と警告するかのようになっているが、
母子に気づく気配はない。

種類：油彩・画布



現在はローマ国立近代美術館においてある

・背景の様子はクリムト独自の作風といえる。
3者それぞれに模様を書いてある。

〈参考文献〉

Salvastyle.com, 人生の三段階（女の生の三段階、人生の三世代）,
http://www.salvastyle.com/menu_symbolism/klimt_lebensalter.html
, (参照2020-06-18)

加藤泰夫, すぐわかる 西洋画よみとき66のキーワード 大日本印刷株式会社 2008年
[ページ33～34ページ]
